

## 平成 30 年度（2019 年 3 月期）の事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人日本教育再興連盟

### 1 事業の成果

13 年目を迎えた今年度は、昨年度に引き続き、継続している活動の質の向上のために、法人としての土台の改善・更新を意識し、当連盟で行っている活動の今後の持続性を高めるような環境整備を積み上げている。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	収 支 計 算 書 の 事 業 費 の 金 額 (単位： 千 円)
教育活動を支援する事業。	1) 学校ボランティア 関東学生事務局のボランティア学生が東京周辺の公立小学校の先生方と提携し、教育現場で、小学生の学習支援や遊びを通じた交流を実施。	(A) 今期中随時 (B) <小学校> 渋谷区立上原 文京区立汐見 文京区立明化 台東区立千束 台東区立東泉 板橋区立板橋第四 板橋区立蓮根 板橋区立常盤台 江戸川区立第六葛西 江戸川区立西葛西 江戸川区立平井 新宿区立戸塚第一 新宿区立平成 大田区多摩川 大田区調布大塚 <中学校> 足立区立六月 町田市立堺 (C) 約 30 名	(D) 小学生、中学生及び教職員 (E) 多数	2,793

	<p>2) 中学及び高校における学習支援事業  関東学生事務局のボランティア学生が東京都内の高校や中学校と提携し、生徒主体となうような授業を制作し、実施。キャリア教育、理科課題研究、現代文など自己理解から教科学習までを取り扱いながら学生で授業を運営した。  また、通年で提携校に入り、特定の教科において授業サポートも行った。</p> <p>3) 福島県南相馬市復興支援事業  ① 現地の NPO 法人との提携の下、ワークショップイベントを開催した。子どもたちのキャリア支援を目的として開催した。また、現地の小学校・中学校にて1週間ボランティア活動を実施した。  ② 福島県南相馬市の小学生約 20 名を東京に招き、東京都内を探索するワークショップや、社会科見学、将来の夢について考えるワークショップを実施した。</p> <p><b>九州学生事務局</b></p> <p>1) オンラインミーティング  九州 ROJE  主にプロジェクトの進捗の確認や、教育系のイベントに関する情報交換等</p> <p>2) オンラインでの活動紹介 (SNS 更新)  九州 ROJE  オンラインミーティング時活動の様子や、メンバー紹介等</p>	<p>(A) 今期中随時  (B) 私立佼成学園中等部  私立聖学院中学校高等学校  (C) 約 25 名</p> <p>①  (A) 3/9  (B) 福島県南相馬市  (C) 10 名</p> <p>②  (A) 8/21～8/23  (B) 東京都内  (C) 37 名</p> <p>(A) 年に数回程度  (B) オンライン上で  (C) 参加者全員</p> <p>(A) 2019 年 1 月～4 月  (B) SNS 上で  (C) 参加者全員</p>	<p>(D) 中学生  (E) 多数</p> <p>①  (D) 南相馬市の小学生約 12 名</p> <p>②  (D) 南相馬市の小学生約 20 名</p> <p>(D) 学生  (E) 各回 10～15 名程度</p> <p>(D) 学生、Facebook や Twitter のページ閲覧者  (E) 閲覧者数</p>	
--	---	---	---	--

<p>教育活動を担う人材を育成・支援する事業。</p>	<p><b>関東学生事務局</b></p> <p>1) 東京大学五月祭教育フォーラム</p> <p>平成から令和への元号の移り変わりを機に、「新時代の教育」をテーマに、専門家を招き、学生とともに議論を行った。来場者は過去最高となった昨年から更に参加人数を伸ばし、歴代最高を更新した。</p> <p>2) EDUPEDIA SCHOOL</p> <p>当法人の運営する教育実践サイト「EDUPEDIA」に掲載されている実践を、教員を始めとしたサイト利用者に直接提供するための場として、運営しているセミナーである。講演やワークショップ、参加者同士の交流を通じて、教育情報や実践のノウハウを共有を行った。昨年に引き続き、今年度は2回開催した。</p> <p><b>関西学生事務局</b></p> <p>1) イベント企画 VARY 「参加者に新たな視点/価値観を提供する」という目的のもと、様々なテーマについて参加者同士が語り合うことのできる場を提供し、参加者の価値観が多様になるきっかけづくりを行った。</p> <p>2) 関西教育フォーラム 「学校×家庭×塾」をテーマとして、5人の登壇者による講演や当団体の学生を交えたパネルディスカッションを行った。</p> <p>3) ROJEclass 「教育」をテーマに学生自身が勉強会を主催し、「教育」について知識を深め、視野を広げた。</p> <p>4) 中高まなびプロジェクト 生徒が人々(主に学生)と学</p>	<p>(A) 5月19日 (B) 東京大学本郷キャンパス (C) 12名</p> <p>&lt;1回目&gt; (A) 9月16日 (B) 聖心女子大学 (C) 4名</p> <p>&lt;2回目&gt; (A) 2月17日 (B) 東京都内 (C) 3名</p> <p>(A) 2018年4月22日(日) 15:30~19:30 (B) 京都大学吉田キャンパス (C) 10名</p> <p>(A) 11月26日 (B) 京都大学吉田キャンパス法経本館第1教室 (C) 96名</p> <p>(A) 4月から翌年3月、月に1~3回程度 (B) 当団体丸太町事務所 (C) 1~3名</p> <p>(A) 4月~3月</p>	<p>(D) 学生・教育関係者を中心とした五月祭来訪者 (E) 925名</p> <p>(D) 現任教員を中心とした教育関係者 (E) 約60名</p> <p>(D) 教員志望の学生を中心とした教育関係者 (E) 約20名</p> <p>(D) 教育、特にキャリアに関心のある人 (E) 35名</p> <p>(D) 学生、教員、保護者、一般の方 (E) 500名</p> <p>(D) 学生 (E) 各回15~20名程度</p> <p>(D) 当該高校に</p>	<p>1, 258</p>
-----------------------------	---	--	--	---------------

	<p>び合う場を創ることで学校と社会をつなぎ、幅広い学びを提供することを目的に、京都市の学校で授業を行った。</p> <p>「同志社中学校ワークショップ アオイエ編」 自分自身のキャリアを広く考えてもらうことを目的に、様々なことに体当たりしているゲストを招き講演およびワークショップを開催。</p> <p>「同志社中学校ワークショップ ありあどね編」 援助希求やピアカウンセリングの仮想体験を目的としたカードゲーム「ありあどね」を取り入れたワークショップを開催。</p> <p>5) 災害と教育事業部わたげプロジェクト 「すべての人が防災を学べる社会に」をテーマに、防災教育実践のコミュニティ形成のための活動を行う。 「防災教育読書会」 防災教育に関する本を読み、意見交換をする読書会を実施した。</p> <p>「防災ゲーム体験会」 各種防災ゲームを体験会と防災に関するワークショップを行った。</p> <p>「防災教育実践交流会」 全国の防災や防災教育実践を集めて、講演会やポスター発表を行った。</p>	<p>(B) KTC おおぞら高等学院京都キャンパス (C) 10名前後</p> <p>(A) 2018年7月下旬、 (B) 同志社中学校 (C) 8名</p> <p>(A) 2019年2月中旬 (B) 同志社中学校 (C) 8名</p> <p>(A) 2018年10月・12月・2019年3月 (B) 当団体丸太町事務所 (C) 各回3名程度</p> <p>(A) 2018年10月・2019年2月・4月 (B) 当団体丸太町事務所 (C) 各回5名程度</p> <p>(A) 2019年3月26日 (B) 京都学園大学太</p>	<p>通う生徒 (E) 15名前後</p> <p>(D) 当該中学校に通学する生徒 (E) 20名程度</p> <p>(D) 当該中学校に通学する生徒 (E) 30名程度</p> <p>(D) 防災に関心のある学生や社会人 (E) 延べ40人程度</p> <p>(D) 防災に関心のある学生や社会人 (E) 延べ50人程度</p> <p>(D) 防災に関心のある学生や社会人</p>	
--	---	--	---	--

	<p>6)先生のための教育事典 EDUPEDIA          教員向け WEB サイト、教員志望向け WEB サイトに掲載する記事の取材・作成</p> <p>「誰でもできる！移行期間における小学校英語の実践」          現役教員 2 名をゲストにお招きし、小学校英語に関するアクティブラーニング実践内容をご講演いただいた</p> <p>「先生×大学生×高校生で考えるアクティブラーニング」          アクティブラーニングに関するワークショップを開催した。</p> <p>「教員のリアルはここにある！～現役教員が考える「先生」の仕事とは～」          若手教員 3 名をゲストにお呼びし、教員の仕事について知るためのワークショップを開催した</p> <p>「こんな先生もいるぞスペシャル」          現役教員 2 名をゲストにお呼びし、自身のキャリアについてご講演いただいた</p> <p>7)放課後ボランティア comp          京都市内における児童館や小・中学校、子ども食堂などのボランティアが集まり、学び合うコミュニティの形成。</p>	<p>秦キャンパス</p> <p>(A) 2017 年 4 月～2018 年 3 月にかけて月 2～4 回程度          (B) 関西圏の学校など          (C) 25 人</p> <p>(A) 5 月 2 日          (B) 当団体丸太町事務所          (C) 3 名</p> <p>(A) 8 月 19 日          (B) 京都大学          (C) 10 名</p> <p>(A) 3/17          (B) 当団体丸太町事務所          (C) 3 名</p> <p>(A) 3/26          (B) 当団体丸太町事務所          (C) 2 名（当日スタッフ 7 名）</p> <p>(A) 2018 年 4 月～9 月          (B) 京都市内の小中高校や児童館</p>	<p>(E) 50 人程度</p> <p>D) 教員、教員志望の学生など          (E) 月間 30 万 PV 程度</p> <p>(D) 教員 (E) 20 名</p> <p>(D) 教員志望の学生や教員          (E) 20 名程度</p> <p>(D) 教員志望の学生          (E) 10 名程度</p> <p>(D) 教員志望の学生や社会人          (E) 30 名</p> <p>(D) 当該学校に通う児童          (E) 15 名前後</p>	
--	--	---	---	--

	<p>「子どもの居場所づくりワークショップ」 京都市中京区にて子ども食堂を運営する方のもとに伺い、子どもの居場所づくりにおいて大事なことなどについてお話を伺ったほか、よりよい居場所づくりを考えるワークショップを開催した。</p>	<p>(C) 各ボランティア地につき1, 2名、合計10名程度</p> <p>(A) 9/14 (B) NPO 法人ふれあいほうむどうぞ (C) 運営メンバー約3名 (当日スタッフ約6名)</p>	<p>(D) 子どもの居場所づくりに関心のある学生 (E) 3名</p>	
教育に資する調査・研究事業。	今期は実施せず。	<p>(A) (B) (C)</p>	<p>(D) (E)</p>	0

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	<p>(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数</p>	<p>(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数</p>	収支計算書の事業費の金額 (単位: 千円)
教育に資する情報を提供・普及する事業。	<p>1) 教育実践サイトの管理運営 全国の教育実践 (授業実践・学級運営など) を共有サイト「EDUPEDIA」に集約・分類した。 より見易い、実践したくなるサイトを目指し、更新を継続中。</p>	<p>(A) 期間中随時 (B) 関東・関西・広島事務局 (C) 約90名</p>	<p>(D) 教員・教育関係者 (E) 多数</p>	174
この法人の活動および関連する情報を広報する事業。	<p>1) 連盟HPの管理運営 ・ドメイン管理 ・レンタルサーバー</p> <p>2) レインボータウンFM「colorful style lab」での活</p>	<p>(A) 期中随時 (B) 事務局 (C) 5名</p> <p>(A) 10月より随時</p>	<p>(D) 日本の教育再興を考える不特定多数</p> <p>(D) 日本の教育再興を考</p>	

	動発信	(B)レインボータウン FM 木場スタジオ (C)約 10 名	える不特定多数 (E)多数	
その他、上記 1～7 の項目の目的達成のために必要な事業。		(A) (B) (C)	(D) (E)	0

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	収支計算書の事業費の金額 (単位:千円)
出版事業	今期は、実施せず。	(A) (B) (C)	0